



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1110		
科目名	文学 2		
担当教員	小泉 夏子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 3		
講義室	1403	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。 DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	1 萌芽期～2進期		
科目概要・キーワード	昭和以降の日本文学を中心に、具体的なテキストの読解を通して考察していきます。文学は、政治・経済・文化の諸ジャンルとの交錯の中で構築されてきました。ここでは文学作品だけでなく、法制度や経済についての言説、演劇や美術、広告のコピーなど様々な表現を取り上げ、多角的な視点で文学を読む力を身につけることを目標とします。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するため、オンライン授業を一部取り入れる場合があります。 キーワード：言語的コミュニケーション・コミュニティと文化の多様性・内容理解・解釈・言葉選び・内容の構造化		
授業の趣旨	■ 副題 競技スポーツに関わる上で必要な言語的コミュニケーション、分析力、表現力、書く力を身		

	につけましょう。 ■授業の目的 アスリートやコーチを目指すうえで競技スポーツに必要な分析力、探求力、表現力、対話力を修得し、他者理解能力など競技スポーツのゼネラリストとしての能力を身につけます。 ■授業のポイント 日本近現代文学の作品を読むことを通して、総合的な日本語力と読解力、文脈に応じて言語を理解する内容理解力、分析力を習得します。文学作品を通して想像力を養い、文化的多様性を理解しましょう。	
総合到達目標	■市民的素養と市民的教養を身につけるために、日本文学の基礎知識と、作品の読解方法を理解する。 ・日本近現代文学の作品を読み、文脈を的確に読解することができる。(2～13回) ・作品の文体や表現方法、背景を具体的に説明することができる。(2～13回) ■日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢を身につけるために、日本文化・異文化の理解を深め、物事を多角的に捉える態度を習得する。 ・文学作品から、時代・環境・年齢・性別など自分と異なる立場の人間の感情や問題を読み取り、多様な視点で物事を考察することができる。(2～13回) ・文学作品の読解を通して、日本の精神文化を理解し、説明することができる。(2～13回) ■理解力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を高めるために、作品を正確に読解・分析し、自らの考えを的確に表現する技能を身につける。 ・文脈に応じて言語の持つ意味を正確に理解し、的確な言葉を用いて文章を記述することができる。(7、14回) ・自分の考えを形成し、他者に正確に伝える力を身につけて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。(2～13回)	
成績評価方法	■リアクションペーパー・確認テスト(60%)：適用ルーブリック A1・A2・D1・K2 (評価の観点) リアクションペーパーや簡単なテストを実施し、文学作品を考察し、内容理解力、文脈を読む力を問います。また、日本文化と自国の文化の理解度がなされているかも確認します。 (フィードバックの方法) 授業内で様々な考察を紹介し、それをふまえて各自考察を深めていきます。 ■レポート(40%)：適用ルーブリック D1・I1・I2・K1 (評価の観点) 文学作品の文理構造の分析、解釈、文脈の理解などが正確になされているか、また、文学の考察方法を理解しているかを問います。答案の構成表現が適切かどうかを評価します。 (フィードバックの方法) 課題の考察方法を確認しつつ、関連の知識をおさらいします。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	プリントは必ず持参し、朗読しておく必要があります。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明)、イントロダクション ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法について理解できるようになる。(A1、A2) ③予習(120分) 関心のある小説を1作品読む。 ④復習(120分) 予習で読んだ作品の内容を、講義で学んだ方法で解釈し、ノートに書いておく。
	2	①授業テーマ 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」をよむ(1)。 ②授業概要 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」前半部分を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味や、山本文緒という作家がどのような作家であったのかを説明できるようになる。(A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2) ③予習(120分) 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」全篇を読む。 ④復習(120分) 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。

3	①授業テーマ 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」をよむ（２）。 ②授業概要 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」後半部分を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味を説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習(120分) 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」前半部分をもう一度読み、あらすじを書く。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙や分析方法を復習し、知識の定着をはかる。
4	①授業テーマ 江國香織「デューク」をよむ（１） ②授業概要 江國香織「デューク」前半部分を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味や、江國香織という作家がどのような作家であったのかを説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習(120分) 江國香織「デューク」全篇を読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙や分析方法を復習し、知識の定着をはかる。
5	①授業テーマ 江國香織「デューク」をよむ（２） ②授業概要 江國香織「デューク」後半部分を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味を説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習(120分) 江國香織「デューク」全篇を読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙や分析方法を復習し、知識の定着をはかる。
6	①授業テーマ 文学作品に関連した現代映画を分析する（１）。 ②授業概要 映画前半部分を鑑賞し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、言葉の意味などを説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習(120分) 映画の関連資料を読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
7	①授業テーマ 文学作品に関連した現代映画を分析する（２）。 ②授業概要 映画後半部分を鑑賞し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味を説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習(120分) 映画前半部分をもう一度おさらいし、あらすじを書く。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙や分析方法を復習し、知識の定着をはかる。
8	①授業テーマ これまで学んだ範囲の内容を振り返り、中間レポートを作成する。 ②授業概要 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」、江國香織「デューク」、映画全編の内容把握と語義、文脈理解、当時の時代状況、文化、社会制度などを説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、K1） ③予習（120分） 山本文緒「イバラ咲くおしゃれ道」、江國香織「デューク」、映画全編の内容把握と授業ノートを読み直し時代背景、文化風俗、社会制度などを説明する文をノートに書く。 ④復習（120分） 自分の解答記述を振り返り、誤解や表現力不足を点検し、ノートにやり直す。
9	①授業テーマ 小説「普請中」をよむ（１）。

	②授業概要 森鷗外「普請中」冒頭を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味や、森鷗外という作家がどのような作家であったのかを説明できるようになる。(A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2) ③予習(120分) 森鷗外「普請中」前半を読む。 ④復習(120分) 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
10	①授業テーマ 小説「普請中」をよむ(2)。 ②授業概要 森鷗外「普請中」前半部分を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味を説明できるようになる。(A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2) ③予習(120分) 森鷗外「普請中」前半を読む。 ④復習(120分) 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
11	①授業テーマ 小説「普請中」をよむ(3)。 ②授業概要 森鷗外「普請中」後半部分を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味、小説の受容について説明できるようになる。(A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2) ③予習(120分) 森鷗外「普請中」後半を読む。 ④復習(120分) 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
12	①授業テーマ 小説「普請中」、「腐心中」をよむ。 ②授業概要 森鷗外「普請中」をふまえて中島京子「腐心中」を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味、小説の受容について説明できるようになる。(A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2) ③予習(120分) 森鷗外「普請中」、中島京子「腐心中」全編を読む。 ④復習(120分) 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
13	①授業テーマ 童話「桃太郎」、芥川龍之介「桃太郎」を読む。 ②授業概要 童話「桃太郎」をふまえて芥川龍之介「桃太郎」を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味や、芥川龍之介という作家がどのような作家であったのかを説明できるようになる。(A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2) ③予習(120分) 童話「桃太郎」、芥川龍之介「桃太郎」全編を読む。 ④復習(120分) 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
14	①授業テーマ 小説「桃太郎」、「新しい桃太郎のおはなし」を読む。 ②授業概要 芥川龍之介「桃太郎」をふまえて中島京子「新しい桃太郎のおはなし」を朗読し、読解できるようになる。当時の時代状況、文化、風俗、本文の言葉の意味、小説の受容について説明できるようになる。(A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2)読む。 ③予習(120分) 中島京子「新しい桃太郎のおはなし」全編を読む。 ④復習(120分) 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。
15	①授業テーマ 中島京子「新しい桃太郎のおはなし」を再考する。また、これまで学んだ内容を振り返り、期末レポートを作成する。 ②授業概要

	森鷗外「普請中」、中島京子「腐心中」、芥川龍之介「桃太郎」、中島京子「新しい桃太郎のおはなし」全編の内容把握と語義、文脈理解、当時の時代状況、文化、社会制度、発表媒体の違いによる作品内容の変化などを説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、K1） ③予習（120分） 森鷗外「普請中」、中島京子「腐心中」、芥川龍之介「桃太郎」、中島京子「新しい桃太郎のおはなし」全編の内容把握と授業ノートを読み直し時代背景、文化風俗、社会制度などを説明する文をノートに書く。 ④復習（120分） 自分の解答記述を振り返り、誤解や表現力不足を点検し、ノートにやり直す。
関連科目	文学 1 RMGT／SSCS1109
教科書	なし。
参考書・参考URL	授業内で適宜説明します。
連絡先・オフィスアワー	水曜日・木曜日昼休み。
研究比率	

